

◆ 8月26日 塩谷町・放射性廃棄物最終処分場候補地の現地調査、住民との懇談



福島第一原発の事故により発生した放射性廃棄物の最終処分場の候補地として、塩谷町の国有地が選定された問題で、日本共産党は26日、現地調査をおこない、住民と意見交換しました。調査には、塩川鉄也衆院議員をはじめ、党県委員会の小林年治委員長、野村せつ子前県議、地元の橋本巖町議など21名が参加。候補地となった寺島入の国

有林や尚仁沢を町職員の案内でまわり説明を受けました。住民との懇談会には、地元から選定の白紙撤回を求める「塩谷町民指定廃棄物最終処分場反対同盟会」の代表や住民など約30人が参加。計画の撤回への協力の要請や、風評被害への懸念の声が寄せられました。塩川衆院議員は、「住民合意のない計画は認められません。白紙撤回の一点で、国政や県・町で共同の活動を広げるために全力をあげます」と述べました。

(写真＝現地調査する塩川衆議院議員、野村前県議、橋本塩谷町議ら)